

平成30年度第5回番組審議委員会議事録

1 開催年月日 平成31年1月24日(木)

2 開催場所 CTY本社3階会議室

3 委員の出席

① 委員総数 10名

② 出席委員数 6名

③ 出席委員 小林慶太郎(四日市大学 教授)
出口 功(菰野町スポーツ・文化振興会 事務局長)
矢田敏浩((公財)四日市市文化まちづくり財団
四日市市文化会館 グループリーダー)

原真由美(民生委員)

服部洋明(メガネの隆明堂 店主)

三輪栄子(元四日市市消防団 サルビア分団分団長)

④ 欠席委員 堀内あかね(菰野町観光協会)

笹岡邦清(暁石齋株式会社 取締役)

藤井博光(ライブハウス フルハウス 元店主)

黒 翔太郎(四日市大学 環境情報学部 学生)

⑤ 放送事業者側出席者氏名 伊藤秀明(CTY地域情報部長)

館 克俊(CTY-FM 局長)

諸岡 太(CTY-FM 副局長)

山本浩之(CTY-FM チーフディレクター)

4 議題

審議番組 番組名 Go To Veertien
(Evening Wave 内コーナー番組)
放送日時 毎月第1・3水曜日
17:10頃~約20分間

5 審議概要

CTY-FM 番組審議委員会 小林慶太郎委員長の挨拶に続き、CTY 地域情報部長伊藤秀明より CATV の方では新サービスの4K、8Kサービスを開始。コンテンツの充実をさせるべく、FMとCATVとのメディアミックスの番組“よっかいちかふえ”、またCATV社員が災害時に備えてラジオ番組で“しゃべる”経験を積む“こちらCTYです!”など、CATVとFMの連携をより密にしている旨の近況をご報告。またCTY-FM 局長館克俊より年末年始特番、新番組表発行、番組ステッカーを新しく制作した旨のお知らせ。今後は年度末に向けて、より一層

のリスナー獲得に向けて“公式アプリ”登録数アップの促進を図るとご報告しました。その後、審議番組の視聴・合評が行われました。

7 審議内容

委員長：番組視聴の前に番組概要の説明をお願いします。

会社：桑名市、四日市市をホームタウンとするサッカークラブ（株）ヴィアティン三重ファミリークラブを応援するコーナー番組。「三重県にJリーグを！」を合言葉に頑張るヴィアティン三重を応援して行くことで、地域の活性化とスポーツ文化向上を目指します。

番組聴取： 番組名 Go To Veertien
(Evening Wave 内コーナー番組)
放送日時 毎月第1・3水曜日
17：10頃～約20分間

委員長：みなさんのご意見をお願いします。

委員：次回出演者の予告がありませんが、是非入れたほうが次回も聞こうと言う気になると思います。

委員：近々の試合日程などの告知は入れなくても良いのですか。

委員：サポーター募集などはしないのでしょうか。

委員：番組へのご意見、ご感想などの宛先のアナウンスがありません。メールアドレスや住所などのアナウンスがあった方が良いのでは。

委員：この番組はスポンサー番組ではないのですね。あくまでも局側がチームを応援している番組なのですね。

委員：選手個人の話も面白いのですが、練習環境についてやチームの雰囲気など、普段はなかなか聞けないような話が聞きたかった。

委員：いつもは番組MCが女性だと聞きましたが、サッカーについてはよく勉強しているのですか。

委員：そもそもJFLという組織はいったい何ですか？

委員：この番組のリスナーはヴィアティン三重のサポーターの皆さんだけなのでしょうか。

委員：地域のスポーツ文化向上ということであれば、JFLだけでなくサッカーそのものについて全く知らない人にも興味を持ってもらえるような番組作りにしたい。

委員：2012年から続いている番組ということですが、内容はその頃と変わっていますか。レベルアップ、バージョンアップはしているのでしょうか。

委員：サッカーの話題だけでなく、たとえばゲストの選手のお気に入りのお店紹介なんかもあってよいと思います。

- 委員：この番組はただ単に選手や監督を紹介する番組なのではないでしょうか。上部組織のJ3に上がってもらうための応援番組であれば、何をどう応援するのがちょっと不明確な気がします。
- 委員：せっかく毎回選手や監督をゲストにお迎えしているのだから、その場でサインしてもらってリスナーに色紙プレゼントなどをしてみてはどうでしょうか。
- 委員：ゲストは必ず選手や監督でなければいけないのですか。
- 委員：サポーター代表、ファンクラブ代表をゲストにお迎えしてはどうでしょうか。
- 委員：選手達の寮などがもしあるのであれば、寮長や寮母さんに出演してもらうと選手達の素の部分の部分がわかって面白いのではないのでしょうか。
- 委員：なぜ、サッカーだけを地域スポーツとして応援するのですか。
- 委員：地元にはラグビーのチームもありますが、ラグビーを応援すると言うのも今後ありますか。
- 委員：三重県は近々に国体も開催されるので、スポーツ関連のコンテンツは重要だと思います。
- 委員：他局でもヴィアティン三重を応援している番組があるようですが、他局との差別化はどう考えているのですか。
- 委員：選手の生声が聞けると言う点でサポーターには嬉しい番組ですね。
- 委員長：ヴィアティン三重さんにスポンサーになって頂けるのであればそれにこしたことはありませんが、ただ単にそれだけではなく、地元に着した放送局としてはなんらかの形で応援してゆくことに意義があると思います。しかし、ただ応援すればよいということではなく、地域との関連性を上手く出しながら応援してゆくことが、真の地域スポーツ文化の向上と地域活性化につながるのではないのでしょうか。番組としては長い歴史がありますが、まだまだ様々な可能性を含んでいると思います。今後期待したいと思います。
- 会社：貴重なご意見をたくさんありがとうございました。まだまだご意見があろうかとは思いますが、また、ご意見や感想などがございましたらその都度、ご教授いただきたく存じます。今日は1時間半にわたり議論を頂き、ありがとうございました。

次回開催日 平成31年3月7日(木) 13:30～(予定)

8 審議会の答申などに対してとった処置

9 記事の公示

CTY-FM ホームページにて公示